

ロボットパンチルトヘッド

PTR-10 MARK II



取扱説明書

datavideo
JAPAN

目次

1. 製品の概要	3
2. システム概要	4
3. 接続	8
4. 制御機能	9
5. DIP Switch	29
6. ファームウェアの更新	30
7. よくある質問	31
8. 寸法	32
9. 仕様	33
10. サポート窓口	34

内容物

番号	品名	数量
1	PTR-10MARK II 本体	1
2	AC/DCアダプター(5.0A) + ACケーブル(50cm) 付	1
3	HDMIケーブル(50cm)	1
4	SDIケーブル(50cm)	1
5	D-Tap-ロック付コネクターケーブル	1
6	リモートケーブル(2.5mmフォンジャックmini-din8pin)	1
7	IRリモコン(単4電池2個)	1
8	1/4ネジ(14mm)	2
9	1/4 to 3/8ねじアダプター	1
10	取扱説明書(本書)	1

1. 製品の概要

本機は小さめのカメラやブロックカメラをPTZカメラに取り付けるために設計されたパンチルトヘッドです。本機はどんなスタジオにも違和感なくフィットする洗練されたデザインです。本機の重量は 3.4 Kg で、三脚、壁、天井に取り付けるのに最適なデバイスとなっております。



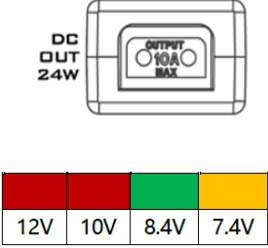



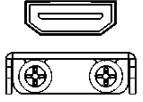
PTR-10 MARK IIはIRコントローラ、VISCAプロトコルコントローラ、RMC-180カメラコントローラ、RMC-300Aユニバーサルリモートコントロールパネルによって制御することができ、シリアルまたはイーサネット(DVIP)と互換性があります。

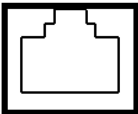

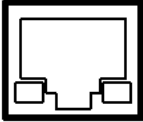


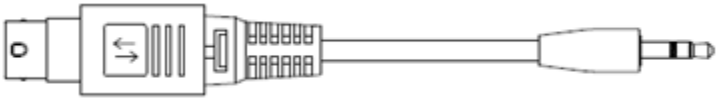
特徴




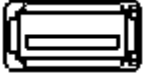

- 強く、丈夫なアルミニウム フレーム
- 各種インターフェイス:SDI、HDMI、RS-232、RS-422、DVIP、タリー、LANC
- 複数のコントローラの選択肢: RMC-180、RMC-300A、RMC-300C、HS-1600T、ショーキャスト100
- 組み込みの集計ライト
- DC 出力用 D タップ コネクタ
- 異なるカメラタイプに対して選択可能なDC電圧出力(7.4/8.4/10/12)
- オプションの Datavideo ZEK-1 ズームエンコーダキットをサポートし、搭載カメラのズーム位置を検出して読み出す
- 制御ソニー、パナソニック、カノン、およびJVCカメラ
- Datavideoのリモートコントローラを使用して、ズーム、フォーカス、IRIS、シャッター、ホワイトバランスを簡単に制御できます。

2. システム概要



Power						
1		<p>DC 12V / 5A入力</p> <p>付属の12V / 5A PSUを接続します。接続は、DC Inプラグの外側の固定リングをソケットにねじ込んで固定できます。</p>				
2		<p>電源スイッチ</p> <p>デバイスの電源オン/オフ</p>				
3	 <p>DC OUT 24W</p> <table border="1" data-bbox="322 824 590 900"> <tr> <td style="background-color: red;">12V</td> <td style="background-color: red;">10V</td> <td style="background-color: green;">8.4V</td> <td style="background-color: yellow;">7.4V</td> </tr> </table>	12V	10V	8.4V	7.4V	<p>DタップDC OUT 24W</p> <p>Dタップコネクタは、カメラにDC電源を供給します。</p> <p>注: PTR-10 MARK II に付属するDタップからDC5.5ケーブルは、Datavideo のブロックカメラに電力を供給するように設計されています。</p> <p>LEDインジケータ</p> <p>LEDインジケータは、DC OUT D-tapコネクタが提供している異なる出力電圧を表します。出力電圧の選択については、DIPスイッチのセクションを参照してください。</p>
12V	10V	8.4V	7.4V			
Video						
4		<p>SDI IN</p> <p>取り付けられたカメラからのビデオ入力</p>				
5		<p>SDI出力</p> <p>ビデオスイッチャーなどの外部デバイスに映像を配信します。</p>				
6		<p>HDMI入力</p> <p>取り付けられたカメラからのビデオ入力</p>				
7		<p>HDMI出力</p> <p>ビデオスイッチャーなどの外部デバイスにカメラビデオを配信します。OSDメニューは、このポートのHDMIビデオ出力にオーバーレイされます。</p>				

Control		
8		<p>RS-422 IN</p> <p>DatavideoのRMC-180やRMC-300AなどのRS-422インターフェイスを利用するVISCAコントローラーを接続します。</p> <p>詳細な説明とシステム設定の例については、RS-422 VISCA通信プロトコルのセクションを参照してください。</p>
9		<p>RS-232/422 OUT</p> <p>カメラに接続し、カメラとコントローラ間でシリアル制御信号をRS-232またはRS-422インターフェイスで中継します。</p>
10		<p>DVIP</p> <p>DVIPポートは、リモート制御のためにPTR-10をイーサネットスイッチャーまたはルーターに接続します。DVIPポートを利用するコントローラーの例は、RMC-300Aです。</p> <p>詳細な説明とシステムセットアップの例については、DVIPに関するセクションを参照してください。</p>
11	 <p>ZOOM SENSOR</p>	<p>ズームセンサーミニDINポート</p> <p>取り付けられたカメラのズーム位置を検出して戻すために、Datavideo ZEK-1に接続します。接続手順については、ZEK-1ユーザーマニュアルを参照してください。</p>
12		<p>REMOTE</p> <p>カメラのズームとフォーカス、その他の機能を制御するために、さまざまなカメラブランドにリモートケーブルを介して接続します。ケーブルのピン配置情報、接続手順、互換性のあるカメラのリストについては、REMOTE セクションを参照してください。</p> <p>注:リモートケーブル(8ピンミニダイニングから2.5mm電話ジャック)PTR-10 MARK IIはさまざまなカメラブランドに接続するために設計されています。</p> <p>警告: リモートケーブルの8ピンスナップアンドロックミニダンコネクタは、リモートポートに接続するとしっかりと固定されます。取り外す場合は、2本の指でプラグの一部をそっと押し付け、←と→でラベル付けされたコネクタを外側に引っ張ります。</p> 

13		タリ-IN ビデオスイッチャーなどの外部デバイスから集計情報を受信します。
14		タリ-アウト 集計されたカメラに集計情報を配信します。
15		IRレシーバー IRリモコンでPTR-10を操作します。
Firmware Upgrade / Device Configuration		
16		F / Wアップグレード 最新のファームウェアへのアップグレードについては、ファームウェアの更新を参照してください。
17		ディップスイッチ PTR-10MARK IIを構成します。DIPスイッチを参照してください。

3. 接続

ロボットパンチルトヘッドの使用を開始する前に、電源とカメラのビデオが接続されていることを確認してください。

電源

DC 12V / 5A 入力

DC 入力ソケットは、付属の 12V / 5A 電源アダプターを接続します。接続は、DC In プラグの外側の固定リングをソケットにねじ込むことで固定できます。

DタップDC OUT 24W

カメラにDC電源を供給します。

ビデオ

SDI / HDMI 入力

SDI または HDMI インターフェイスを介したマウントされたカメラからのビデオ入力。

SDI / HDMI 出力

SDI または HDMI インターフェイスを介して、ビデオスイッチャーなどの外部デバイスにビデオを出力します。

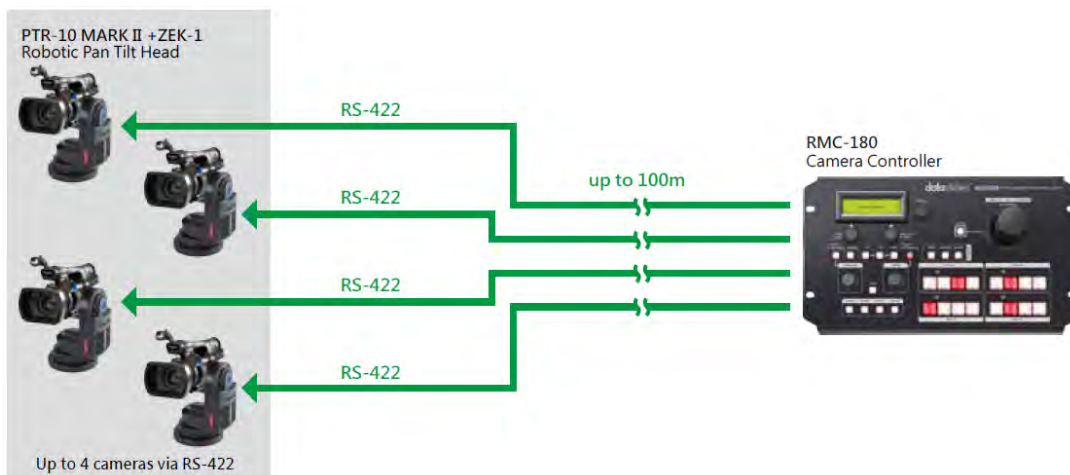
4. 制御機能

このセクションでは、コントロール方法について説明します。

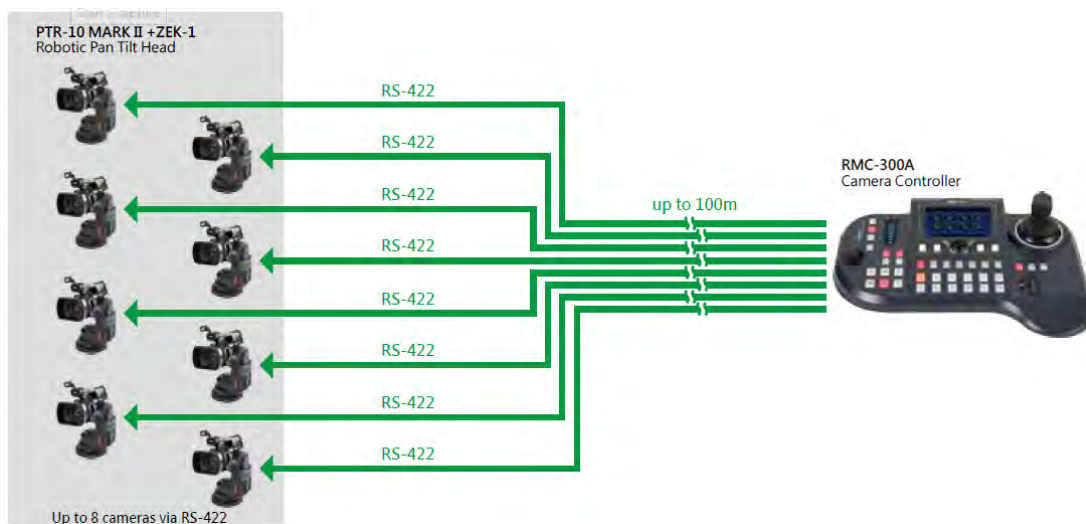
4.1 RS-422 VISCA 通信プロトコル

RMC-180およびRMC-300Aカメラコントローラーは、RS-422 VISCA通信プロトコルを介して4台～8台のPTR-10 MARKIIを制御するように設計されています。システム設定の例については、以下の図を参照してください

PTR-10MARK II カメラコントローラー

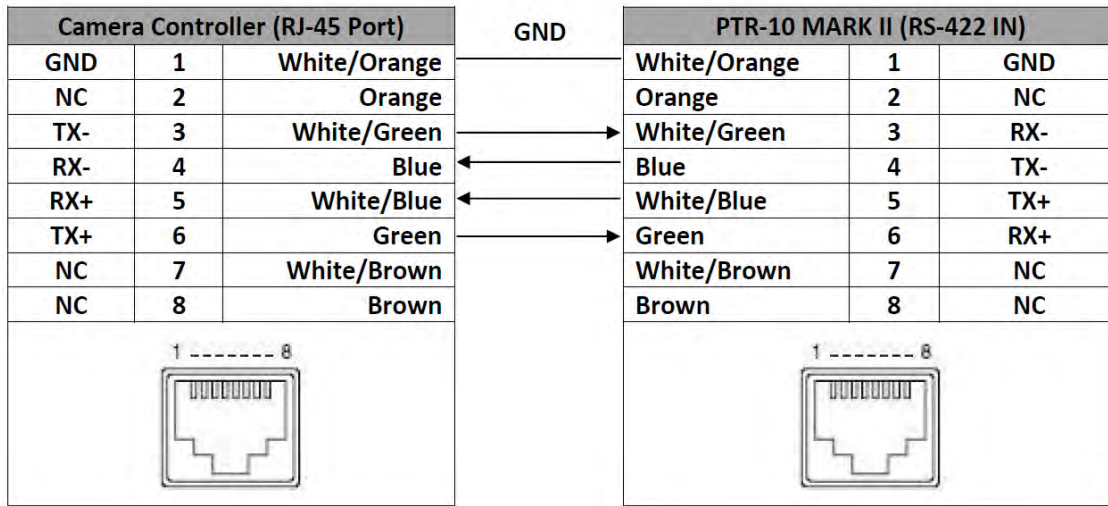


RMC-300Aカメラコントローラー

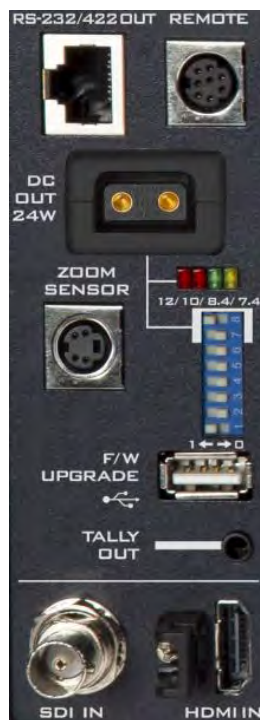


カメラコントローラーを使用してPTR-10MARK IIIに取り付けたカメラを制御するには、まずコントローラーの背面にあるRJ-45ポートの1つをRJ-45ケーブルでPTR-10 MARKIIのRS-422INポートに接続します。次に、使用するプロトコルに応じて、PTR-10 MARKIIと、リモートケーブルによってリモートポート(LANC/BX-Lens)と繋いだカメラかRJ-45ケーブルによってRS-232 / 422出力ポート(RS-232 / RS-422)と繋いだカメラを接続して下さい。リモートケーブルについては、リモートOUTのセクションを参照してください。

RS-422セットアップでのRJ-45ケーブル接続(カメラコントローラーとPTR-10 MARK II間のRS-422配線方式)については、以下を参照してください。



接続を確立する前に、PTR-10 MARKIIのDIPスイッチのbit4をオフに設定する必要があります。詳しくは、「DIP Switch」セクションを参照してください。

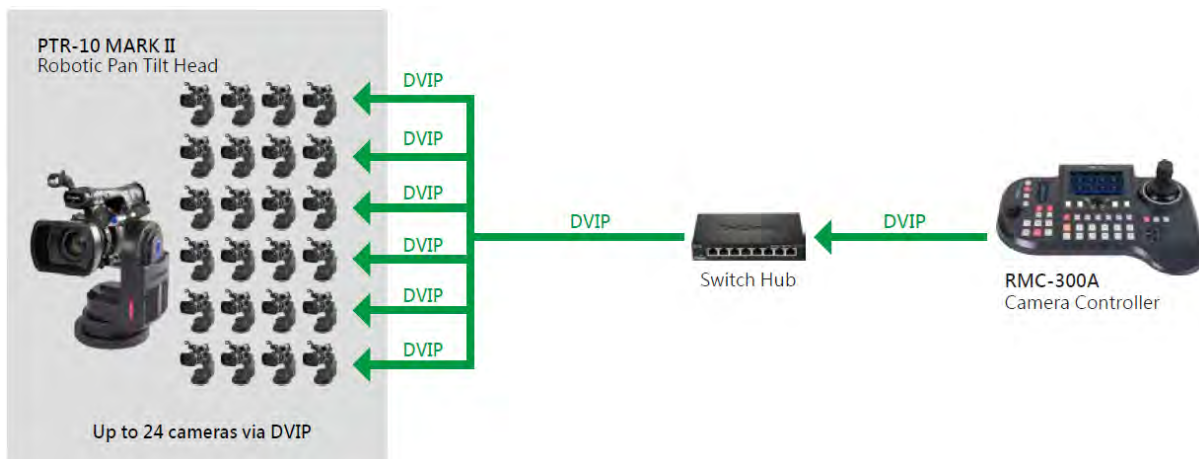


各種コントローラーの操作については、該当品番の取扱説明書をご参照ください。

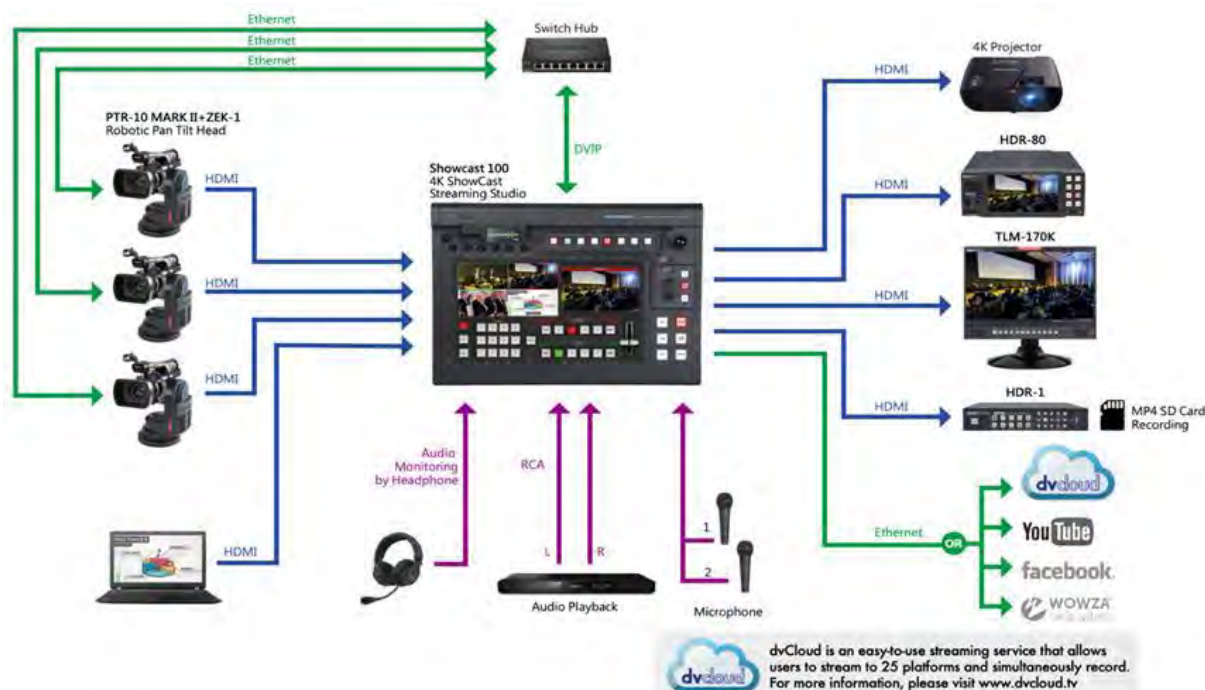
4.2 DVIP

DVIPを使用して複数のPTRシリーズデバイスを制御するには、最初にDVIPポートを介してそれらを同じネットワークに接続します。DHCP / LANネットワークでのシステム接続設定の2つの例については、以下の図を参照してください。

最初のシステム図は、RMC-300Aカメラコントローラーを使用すると、最大24台のPTRシリーズデバイスを同時に制御できることを示しています。RMC-300Aの操作については、ユーザーマニュアルを参照してください。



2番目の図では、Showcast 100 4K ShowCast StreamingStudioがスイッチハブを介してPTR-10MARKIIデバイスと通信します。

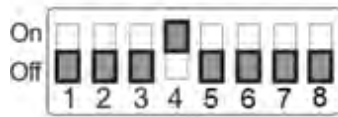


PTRシリーズデバイスのデフォルトの静的IPアドレスは通常192.168.100.XXXです。ユニットは、RJ-45イーサネットケーブルを使用して、ユニットのデフォルトIPアドレスと同じ最初の3オクテットのIPアドレスが割り当てられたWindowsベースのコンピューターに直接接続できます。以下に概説する次のセットアップ手順では、既存のDHCP / LANネットワークに移動する前に、最初にユニットを構成できます。

- 1.最初にRJ-45イーサネットケーブルを使用して、PTRシリーズデバイスのDVIPポートを、デバイスのデフォルトIPアドレスと同じ最初の3オクテットのIPアドレスが割り当てられたWindowsコンピューターに接続します。
- 2.PTRシリーズデバイスのDIPスイッチを見つけます。



- 3.DIPスイッチの位置4をONにします。



- 4.DVIP baud rateを115200に設定します。
- 5.製品ページからDVIP構成ツールをダウンロードします。
6. PCで、「DVIP_ConfigureTools.exe」をダブルクリックしてDVIP構成ツールを開きます。
7. DVIP構成ツールを開いたら、ネットワークインターフェイスカードを選択し、[OK]ボタンをクリックします。
8. DVIPデバイスリストに、接続されているデバイスのデバイス名、MACアドレス、およびIPアドレスが表示されます。
- 9.ネットワークをDHCPに設定し、[Save]ボタンをクリックして、新しい設定をデバイスに書き込みます。
10. [Save]ボタンをクリックした直後に、右上隅に新しい設定を有効にするためにデバイスの起動を要求するプロンプトメッセージが表示されます。
- 11.デバイスを再起動して、新しい設定を適用します。



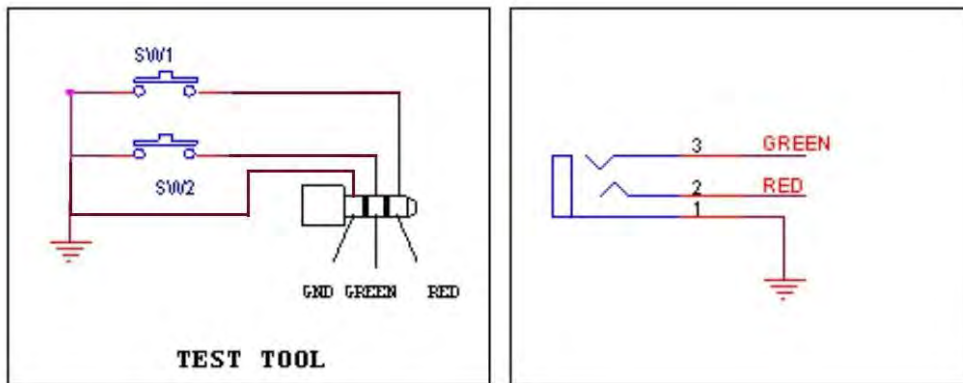
4.3 タリー

PTRシリーズには2つのタリーソケットがあります。Tally INは、ビデオスイッチャーなどの外部デバイスから集計情報を受信します。Tally OUTは、マウントされたカメラに集計情報を配信します。

タリーライトの定義

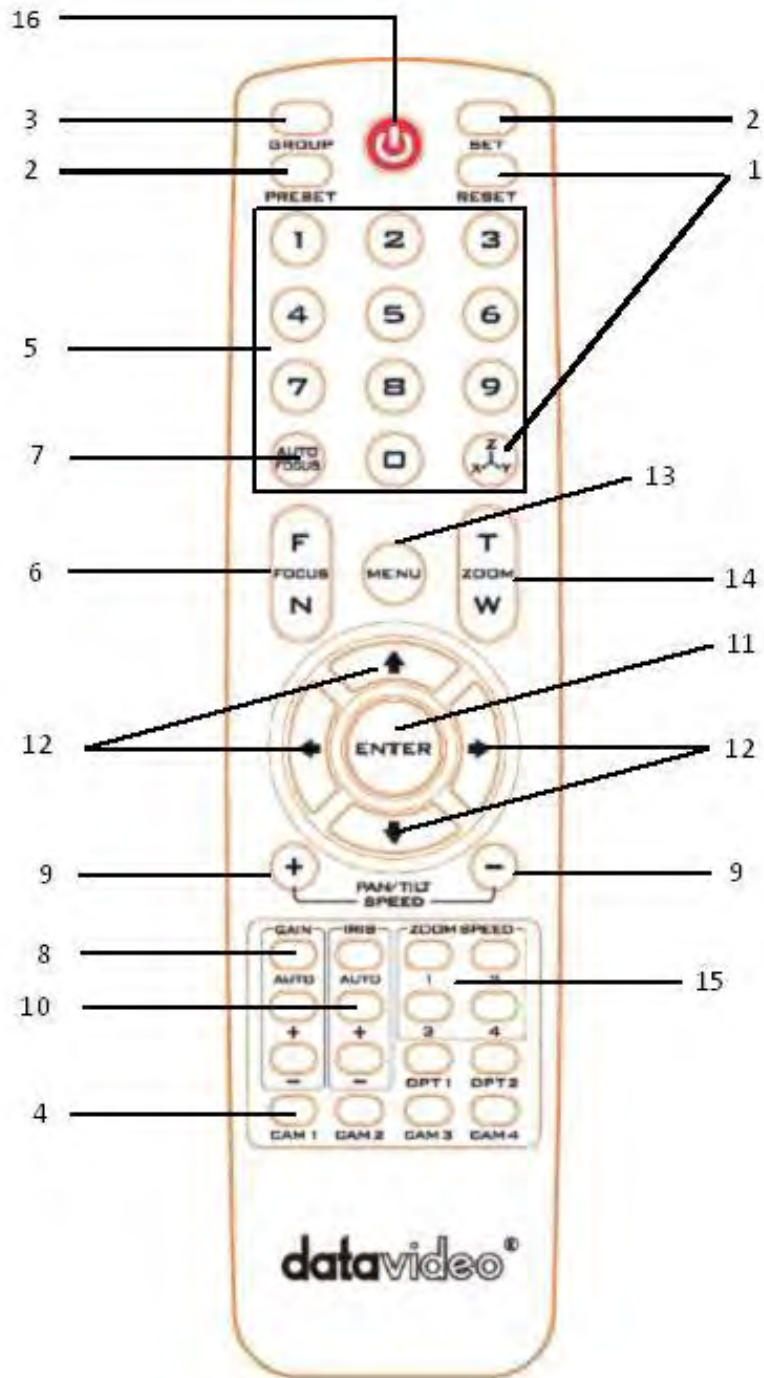
状態	On Air/Live	Standby/Cued	Free/Safe
ライトの色	赤色	緑色	点灯しない






簡単なテストツールを次の図に示します。















4.4 IR リモートコントロール

IR リモコンでPTR-10 を操作します。



NO	Buttons	説明
1	Reset 	RESET ボタンを押して、カメラのレンズを前面に戻します。
2	Set  Preset 	<p>PAN/TILT プリセットの保存 PTR-10MARK II には 50 の PAN/TILT プリセットが装備されています。PAN/TILT 設定をプリセットに保存するには、まずカメラを目的の PAN/TILT 位置に移動してから数字キーを押し、プリセット番号(1-50)を選択します。最後に SET ボタンを押して PAN/TILT 設定を保存します(注: RS-422 プロトコルを使用して保存コマンドを発行することもできます。)</p> <p>PAN/TILT プリセットの呼び出し 最初に数字キーを押してプリセット番号(1-50)を選択し、Preset ボタンを押して PAN/TILT 設定を呼び出します。</p>
3	GROUP 	<p>Group モーションを有効にすると、自動カメラ移動が有効になります。各グループは最大 16 の PAN/TILT プリセットで構成されており、グループで構成された順序でカメラをこれらの位置に自動的に移動できます。</p> <p>グループの呼び出し PTR-10 には 8 つのグループが搭載されています。グループを呼び出すには、まず数字キーを押してグループ番号(1-8)を選択し、次に Group ボタンを押して有効にします。</p> <p>グループ設定の保存 グループ設定を構成するには、最初に OSD メニューを開き、次に MEMORY を選択します。</p> <p>各グループでは、PRESET NO オプションから最大 16 のプリセットを選択して、搭載されたカメラの自動移動ができます。また、プリセットごとに停止時間を設定できます。さらに、NEXT POSITION オプションで RETURN を設定してグループモーションを繰り返し、残りを単一グループモーションで繰り返すことも可能です。</p> <p>グループキャンセル Enter キーまたは Reset ボタンを押して Group モーションを終了します。</p>
4	Camera Select 	<p>マルチカメラ環境で CAM1-CAM4 を選択します。OSD メニューで IR グループ ID を設定して、操作のカメラに ID 番号を割り当てます。OSD メニューから以下の通りに移動してください。</p> <p>4. Remote Control →5. Set IR → IR Group ID → CAM 1 - 4</p> <p>既に CAM ID が割り当てられている 4 つのカメラ間を移動するには、CAMERA SELECT (CAM 1~CAM4) ボタンを押します。</p>

5	<p>Position Setting</p> 	<p>設定の様々な組み合わせ(位置・ズーム・フォーカス・ゲインコントロール・アイリスコントロール)を、テンキーを使用してプリセットに保存できます。</p> <p>プリセットポイントの調整 カメラ位置、ズーム、フォーカス、ゲインコントロール、アイリスコントロールを調整します。</p> <p>プリセットポイントを設定する プリセット番号 1-50 のいずれかを押してから PRESET ボタンを押します。PRESET ボタンの説明をご参照ください。</p> <p>グループスキャンモードを設定する グループ番号 1-8 のいずれかを押してから GROUP ボタンを押します。GROUP ボタンの説明をご参照ください。</p> <p>カメラのレンズを前面に戻す 番号 0 を押してから Preset ボタンを押します。</p>
6	<p>Focus Setup</p> 	<p>被写体に手でカメラレンズの焦点を合わせる F(FAR)ボタンか N(NEAR)ボタンを押してカメラレンズの焦点を被写体に手で合わせます。</p>
7	<p>AUTO FOCUS Control</p> 	<p>被写体に自動でカメラレンズの焦点を合わせる AUTO FOCUS ボタンを押してカメラレンズの焦点を被写体に自動で合わせ、画面中央に配置します。</p>
8	<p>GAIN Control</p> 	<p>明るさを調整する Gain+ボタンを押して輝度を上げるか、Gain-ボタンを押して環境の輝度を下げます。 キャンセルするかデフォルト設定に戻すには Auto ボタンを押してください。</p>
9	<p>P/T Speed</p> 	<p>PAN/TILT 速度の調整 Speed+/-ボタンを押して PAN/TILT 速度(アップ/ダウン)を調整します。</p>

10	<p>AUTO IRIS Control</p> 	<p>被写体を明るく見せる レンズを通過する光の量(露出)を制御するため、虹彩の開口部を調整します。IRIS+を押すと開口部が拡大され、より多くの光が入って被写体を明るく見せます。IRIS-ボタンを押すと虹彩の開口部が縮小されレンズを通過する光の量が減り、被写体が明るく見えすぎるのを防ぎます。 キャンセルするかデフォルト設定に戻すには Auto ボタンを押してください。</p>
11	<p>ENTER</p> 	<p>エンターキーです。</p>
12	<p>DIRECTION Arrows</p> 	<p>カメラの方向を変更 矢印ボタンを押して、カメラヘッドの方向を変更します。</p> <p>プリセットポイント自動スキャンモードの停止 DIRECTION ボタンのいずれかを押します。</p> <p>メニューオプションの選択 上または下ボタンを押してメニューオプションを選択します。</p> <p>サブメニューオプションの選択 ENTER キーを押してサブメニューオプションに入ります。</p> <p>設定値を調整する 左または右ボタンを押して値を調整します。</p>
13	<p>MENU Button</p> 	<p>メニューボタン メニューを呼び出すか、メニューからバックします。</p>
14	<p>ZOOM In/Out Buttons</p> 	<p>ズーム (T): TELE ボタンを押して被写体をズームインするか、(W)WIDE ボタンを押して被写体がカメラから遠く見えるようにズームアウトします。</p>
15	<p>ZOOM SPEED Button (4 speed selection)</p> 	<p>ズームイン/アウト速度の調整 ボタン 1・2・3・4 を押してズーム時の速度を調整します。1 が最も速く、4 が最も遅いです。</p>
16	<p>Standby Button</p> 	<p>リモコンのオン/オフを切り替えます。</p>

OSD メニュー

OSD メニューを使用すると、パンやチルト、制御プロトコルなどのさまざまなデバイス設定を変更できます。リモコンのメニューボタンを押すと、以下のような OSD メニューが開きます。

OSD MENU
1: Set Motor
2: Memory
3: Video Mode
4: Remote Control
5: System
6: Reset P/T
7: Escape

次の表は、主なオプション項目とそのサブオプションをまとめたものです。

Main Options							
	Set Motor	Memory	Video Mode	Remote Control	System	Reset P/T	Escape
Sub-Options	1.P/T Acceleration	1.Preset Position	1.Selection Way	1.PAN/TILT Reverse	1.Display	1.Reset PAN/TILT	
	2.P/T Speed	2.Group-1	2.Video Mode	2.Remote Source	2.Tally Light		
	3.PAN Torque	3.Group-2	3.HDMI Mode	3.Set RS-422	3.Model No.		
	4.Tilt Torque	4.Group-3	4.Escape	4.Set DVIP	4.Reset All		
	5.Pan Offset	5.Group-4		5.Set IR	5.Update Software		
	6.Tilt Offset	6.Group-5		6.Set Remote Out	6.Escape		
	7.Pan Min Limit	7.Group-6		7.PTZ INFO.output			
	8.Pan Max Limit	8.Group-7		8.Escape			
	9.Tilt Min Limit	9.Group-8					
	10.Tilt Max Limit	10.Escape					
	11.Escape						

画面メニューのすべてのオプションの詳細は、以下の表にリストされています。

第一レベルのメインオプション	第二レベルサブオプション	第三レベルパラメーター	第四レベルパラメーター	サブオプション内容説明
1. Set Motor	P / T Acceleration	Fast		
		Slow		
		Middle		
	P/T Speed	Auto Speed		
		Normal		
	PAN torque ADJ	LOW		
		+1~+5		
	TILT torque ADJ	LOW		
		+1~+5		
	PAN Offset ADJ	+5.4		
		+4.5		
		+3.6		
		+2.7		
		+1.8		
		+0.9		
		0.0		
		-0.9		
		-1.8		
		-2.7		
		-3.6		
		-4.5		
-5.4				
TILT Offset ADJ	+6.3			

		+4.5		
		+3.6		
		+2.7		
		+1.8		
		+0.9		
		0.0		
		-0.9		
		-1.8		
		-2.7		
		-3.6		
		-4.5		
		-5.4		
		-6.3		
	PAN Min Limit	-170 ~ -1		
	PAN Max Limit	+1 ~ +170		
	TILT Min Limit	-45 ~ -1		
	TILT Max Limit	+45 ~ +1		
	7. Escape			
2. Memory	1. Preset Position	1-50 P/T	1. P/T Speed	1 ~ 18
			2. Escape	
		51. ESCAPE		
	2. Group - 1	1 ~ 16	PRESET NO.	1 ~ 50
			ITEM ON/OFF	ON/OFF
			SPEED LIMIT	1 ~ 18
			WAITING TIME	0 ~ 180

			NEXT POSITION	NEXT ITEM
				RETURN
				GROUP-1
				GROUP-2
				GROUP-3
				GROUP-4
				GROUP-5
				GROUP-6
				GROUP-7
				GROUP-8
		ESCAPE		
17. ESCAPE				
3. Group - 2	1~16	PRESET NO.	1~50	
		ITEM ON/OFF	ON/OFF	
		SPEED LIMIT	1~18	
		WAITING TIME	0~180	
		NEXT POSITION	NEXT ITEM	
			RETURN	
	GROUP-1			
	GROUP-2			
	GROUP-3			

			GROUP-4			
			GROUP-5			
			GROUP-6			
			GROUP-7			
			GROUP-8			
			ESCAPE			
			17. ESCAPE			
			4. Group - 3	1-16	PRESET NO.	1~50
					ITEM ON/OFF	ON/OFF
						SPEED LIMIT
WAITING TIME	0~180					
NEXT POSITION	NEXT ITEM					
	RETURN					
	GROUP-1					
	GROUP-2					
	GROUP-3					
	GROUP-4					
	GROUP-5					
GROUP-6						
GROUP-7						

				GROUP-8	
			ESCAPE		
		17. ESCAPE			
5. Group - 4	1~16	PRESET NO.	1~50		
		ITEM ON/OFF	ON/OFF		
		SPEED LIMIT	1~18		
		WAITING TIME	0~180		
		NEXT POSITION	NEXT ITEM		
			RETURN		
			GROUP-1		
			GROUP-2		
			GROUP-3		
			GROUP-4		
			GROUP-5		
			GROUP-6		
		GROUP-7			
		GROUP-8			
		ESCAPE			
		17. ESCAPE			
6. Group - 5	1~16	PRESET NO.	1~50		
		ITEM ON/OFF	ON/OFF		
		SPEED LIMIT	1~18		
		WAITING TIME	0~180		
		NEXT POSITION	NEXT ITEM		

				RETURN
				GROUP-1
				GROUP-2
				GROUP-3
				GROUP-4
				GROUP-5
				GROUP-6
				GROUP-7
				GROUP-8
				ESCAPE
17. ESCAPE				
7. Group -6	1~16	PRESET NO.	1~50	
		ITEM ON/OFF	ON/OFF	
		SPEED LIMIT	1~18	
		WAITING TIME	0~180	
		NEXT POSITION	NEXT ITEM	
		RETURN		
		GROUP-1		
		GROUP-2		
		GROUP-3		
		GROUP-4		

			GROUP-5	
			GROUP-6	
			GROUP-7	
			GROUP-8	
		ESCAPE		
	17. ESCAPE			
	8. Group -7	1~16	PRESET NO.	1~50
			ITEM ON/OFF	ON/OFF
			SPEED LIMIT	1~18
			WAITING TIME	0~180
			NEXT POSITION	NEXT ITEM
				RETURN
				GROUP-1
				GROUP-2
				GROUP-3
				GROUP-4
				GROUP-5
GROUP-6				
GROUP-7				
GROUP-8				
ESCAPE				
17. ESCAPE				

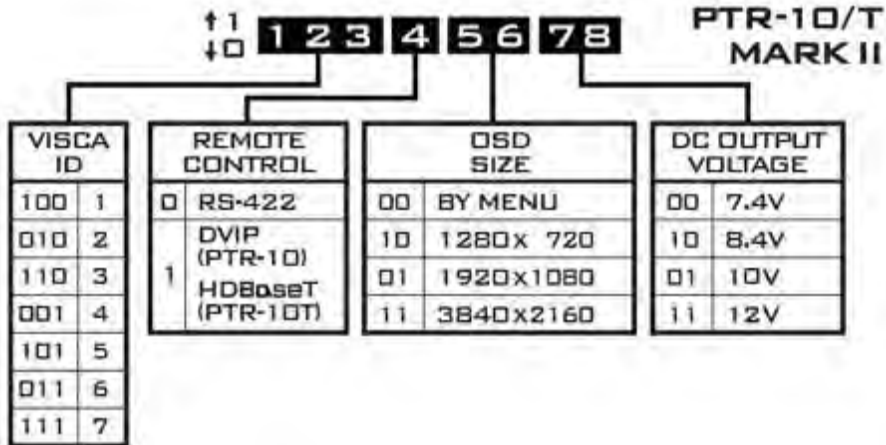
	9. Group -8	1-16	PRESET NO.	1~50
			ITEM ON/OFF	ON/OFF
			SPEED LIMIT	1~18
			WAITING TIME	0~180
			NEXT POSITION	NEXT ITEM
				RETURN
				GROUP-1
				GROUP-2
				GROUP-3
				GROUP-4
				GROUP-5
				GROUP-6
				GROUP-7
			GROUP-8	
			ESCAPE	
			17. ESCAPE	
			10. Escape	
3. Video Mode	1. Selection Way	BY MENU		
		BY SWITCH		
	2. OSD Size	1280 x 720		
		1920 x 1080		
		3840 x 2160		
	3. HDMI Mode	RGB444		
		YUV422		
4.Escape				

4.Remote Control	1.PAN/TILT Reverse	OFF		
		P		
		T		
		P+T		
	2. Remote Source	RS-422, SW (下部のDIPスイッチのみを使用して構成可能)		
	3. Set RS-422	CAMERA ID MODE	BY MENU	
			BY SWITCH	
		CAMERA ID	1~7	
		RS-422 BAUD RATE	9600	
			19200	
			38400	
		Recall's Response	Tailer	
			Leader	
		ESCAPE		
	4. Set DVIP	DVIP BAUD RATE	9600	
			19200	
			38400	
			115200	
		ESCAPE		
	5. Set IR	IR GROUP ID	CAM1~4	
		ESCAPE		
	6. Set Remote Out	Remote Out Mode	BX Lens	
			LANC	
			RS-232C	
			RS-422	
		Remote Out Baud Rate	9600	
			19200	
38400				
115200				
Remote Out ID		1~7		
ESCAPE				

	7. PTZ INFO. Output	ON/OFF		
	8. Escape			
5. System	1.Display	P/T OSD	PAN OSD	ON/OFF
			TILT OSD	ON/OFF
			VZOOM OSD	ON/OFF
			ESCAPE	
		DEBUG OSD	DEBUG IR OSD	ON/OFF
			DEBUG RS-422 OSD	ON/OFF
			DEBUG DVIP OSD	ON/OFF
			DEBUG M_CTL OSD	ON/OFF
			DEBUG REG OSD	ON/OFF
			DEBUG FRAME NO	ON/OFF
	ESCAPE			
	ESCAPE			
	2. Tally Light	RED/GREEN		
		GREEN		
		RED		
		OFF		
	3. Model No.	0150/0010		
	4. Reset All	YES/NO		
	5. Update Software	SW VERSION	ESCAPE	
		MB CPU	V00.49a	
MCTL CPU		V00.31		
UPDATE ALL		YES/NO		
ESCAPE				
6. ESCAPE				
6. Reset Pan/Tilt	Reset Pan/Tilt	YES/NO		
7. Escape				

5. DIP Switch

DIPスイッチはシステムパネルの1つにあり、ユーザーはデバイスのVISCA IDを設定し、リモートコントロール(DVIPまたはRS-422)を有効にし、OSDメニューサイズを構成し、DC出力を選択できます。さまざまな設定については、以下の表を参照してください。



6. ファームウェアの更新

Datavideo は、新しい機能や報告されたバグ修正の追加されたパッチを随時リリースします。更新する場合、HPから随時ダウンロードするか、販売店に問い合わせてください。

このセクションでは、完了するまでに約数分かかるファームウェアアップグレードプロセスの概要を説明します。

既存の設定は、ファームウェアのアップグレードプロセスを通じて持続する必要があります。これは、ユニットが応答しなくなる可能性があるため、アップグレードを開始したら終了するまで中断しないでください。

6.1 ファームウェアのアップグレード要件

- ◆ USBドライブ
- ◆ 最新のファームウェアファイル

6.2 アップグレード手順

1)ファームウェアイメージファイル(MB および MCTL)を USB ハードドライブ(<16 GB)のルートディレクトリにコピーし、F / W Upgrade USB ポートに挿入します。

2)IR リモコンを使用して、OSD メニューを開きます。

注:複数のカメラを使用している場合、対応する CAM ボタン(1,2,3,4)を選択します。デフォルトはCAM1 です。



3)メインメニュー

=> 5:SYSYEM

=> 5: UPDATE SOFTWARE

=> UPDATE ALL

=>YES

=> ENTER

4) 次の行が画面に表示されるまで、さらに 5 分間待ちます-Mot-BD => OK を更新しました。

-CPU => ON に更新

OSD メニュー画面が「書き込み OK /電源再投入」を交互に点滅します。更新プロセスが完了するまでに約 5~7 分かかります。

5) 電源コードを抜いてデバイスの電源をオフにし、電源コードをソケットに接続して、デバイスの電源を再度オンにします。

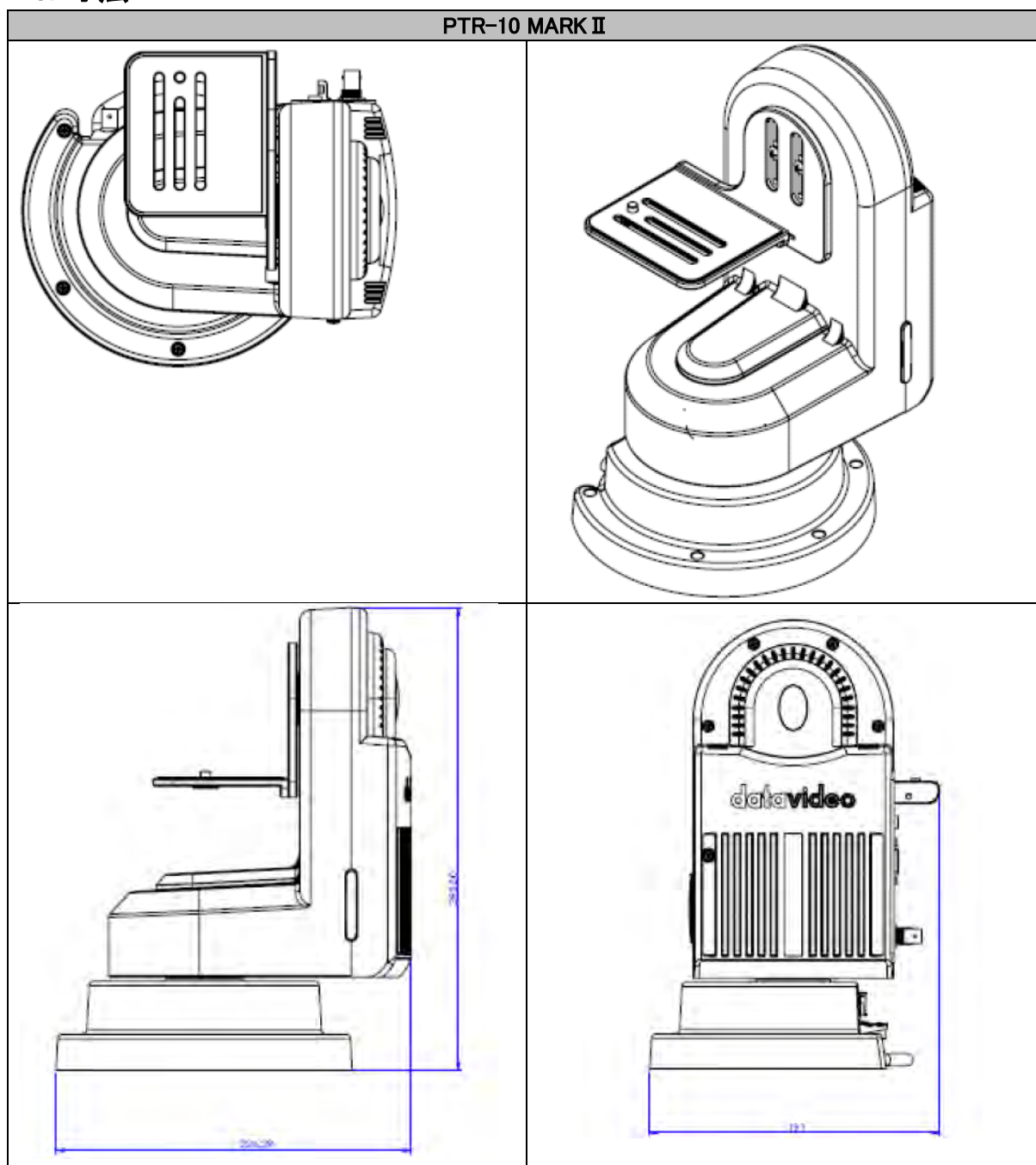
6) アップデートが完了しました。

7. よくある質問

このセクションでは、PTR-10 の使用中に発生する可能性のある問題について説明します。以下の回答で解決しない場合は、販売店へお問い合わせください。

NO	質問	回答
1	デバイスが予期せず応答しなくなります	本機は過負荷になると、デバイスの電源が自動的に切断されます。電源を再開するには、まずデバイスの電源を切り、15 秒以上電源ケーブルを抜き、次に電源を再接続してデバイスの電源を入れます。
2	DC出力に電源が供給されません	電源を切るために短絡保護がアクティブになったら、カメラへの電力供給を再開するためにデバイスを再起動する必要があります。
3	デバイスへの電源供給を開始した後、短絡保護のアクティブ化を防ぐ方法がありますか？	PTR-10 の電源を入れる前に、まずカメラとケーブルが全て確実に接続されているか確認することをお勧めします。

8. 寸法



単位:mm

9. 仕様

型番	PTR-10 MARK II
ビデオ入出力インターフェイス	HDMI x 1
	SDI x 1
ビデオ出力フォーマット	2160p 29.97/25 1080p 59.94/50 1080i 59.94/50 720p 59.94/50
サポートされているコントローラー	RMC-180 / RMC-300A RMC-300C Showcast100 VISCA Protocol Controller IP Control IR Remote
PAN/TILT 範囲	PAN: 340° MAX TILT: +45° to -45° MAX90°
PAN/TILT 速度	Manual: 0.2 - 15° / Sec Swing: 0.1 - 10° / Sec
プリセット数	50 PAN/TILT positions
コントロールプロトコル	Sony VISCA DVIP
コントロールインターフェイス	RS-422 / DVIP
制御距離	RS-422: 300m DVIP: 100m
最大荷重	4.0 Kg
電源供給	DC 12/10/8.4/7.4V、最大24W)
電源	DC12V-18V/3A(カメラなし) DC12V-18V/5A(カメラ搭載時)
操作可能温度	0 ~ 40° C
重力	3.4 Kg
寸法(L x W x H)	228.29 x 191.0 x 295.50 mm

仕様は、予告なしに変わることがありますので予めご了承願います。

※カメラへ給電する場合は、別途5Aの電源アダプターをご用意ください。

10. サポート窓口

datavideo JAPAN

株式会社 M&Inext datavideo 事業部

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210

TEL: 045-415-0203 FAX: 045-415-0255

MAIL: service@datavideo.jp URL: <http://www.datavideo.jp/>

datavideo はDatavideo Technologies Co., Ltd の登録商標です。

本書を権利者の許可なく配布、インターネットでの公開等を行うことは著作権法上禁止されております。

日本語訳・制作・著作 株式会社M&Inext

改訂 2023年03月06日